

團體遊びの二つ三つ

附屬幼稚園 古澤 静子

◆お人形の競走

準備、二人づゝ組んで分れる。

二人の中の一人が、お人形になり、目を閉じ膝を伸ばして踵で立つ。

他の一人は、その後立ち、お人形の両肩に手をかける。室の中に椅子、或は机の様な障害物を置く。

遊び方 「用意」の合圖で各組共、出發線に勢揃ひし「始め」の合圖に依り、お人形の後を押しながら障害物を廻つて來る競争である。お人形は、常に目を閉じて踵で歩き、(出來るだけ早く歩く)後を押す人は、上手に人形を歩かせなければならぬ。

二人は時々交代する。

◆子ふやし鬼

何人でも結構ですが、成るべく多人數がよいと思ひます。鬼を一人定め、他の人々は自由に逃げてゐる。最初に掴つた者は、鬼ミ手をつなぎ、二人の鬼になつて他の者を

追ふ。次に掴つた者も、同様その二人ミ手をつなぎ、三人の鬼が出来る。次に四人目が掴るミ、之等の四人は、二人づゝ二組に分れる。即ち二人で手をつないだ鬼が二組出來たことになる。

各二組の鬼は、一人掴へて三人になり、次に又一人掴へて四人になつた時、前と同様二つに分れて二組の鬼になる。これを続け四人になる毎に二つに分れながら、二人一組の鬼が、次第にふえて來る鬼ごっこである。

この様にして、皆が掴つて鬼になるまで繼續する。

◆三人組んで

準備 三人を一組として分れ、各三人は、かりに、(イ)(ロ)(ハ)の番號をつける。

全組中(イ)は集つて一列縦隊に並び、次に(ロ)が同様一列縦隊に並び、(ハ)もその横に一列縦隊に並び、即ち(ロ)番を中心として(イ)(ロ)(ハ)の三列縦隊を作る。

中心(ロ)より、左右等距離に横の線を引く。(ロ)は兩手

を横に擧げ、(イ)(ハ)は(ロ)の左右に立つて、(ロ)の手
に、つかまつてゐる。

遊び方

「その一」これは全體に關係なく、各組に於て(イ)(ハ)の個人競争であり、(ロ)がその審判をする。合圖に依り、(イ)(ハ)は、其處から各自の側にある横線の處まで走り、横線について元の場所に戻り(ロ)の手に觸る。

例へば五回、乃至十回云ふ工合に、走る回数を定めておき、その回数だけ、早く廻つて最後に又(ロ)の手を持つのである。

早く濟んだ方を勝にする。

後、位置交換を行ふ。

「その二」各三人一組を一單位として、全體の組の競争である。「その一」に大體同じであるが、更に中央の(ロ)を廻るのである。即ち(イ)(ハ)は、右廻りで(ロ)の廻りを廻り、「その一」に同様、横線まで走つて、横線を踏み、再び戻つて、又(ロ)の廻りを廻る。これも、定められた回数だけ早く廻り、最後に(イ)(ハ)は、手をつないで(ロ)を圍むのである。従つて、(イ)(ハ)は、成るべく早く廻り終つて、最後の形を作る様、協力しなければならぬ。この様にして、おしまひの圍みが、早く出來た組を勝とする。

「その三」これも、各一組を一單位として、競争する。

(イ)は(ロ)に同方向を向き、(ハ)は(ロ)に反對の方向を向く。合圖により(イ)(ハ)は、前にゐる者の後を追ひ、右廻りで、(ロ)の列を廻る。前と同様、三回或ひは五回位廻る回数を定め、成るべく早く廻り終つて最初の位置につき、「その二」の様に、(イ)(ハ)は手をつないで(ロ)を圍むのである。(イ)(ハ)は協力して早く圍んだ組を勝とする。後、位置を交換する。

◆廻旋競争

準備、赤白二組に分れ、各組向ひ合ひで、一列縦隊に並ぶ。向き合つた二組の先頭の間、中央の目標を立て、各組の終りにも、目標になる物を置く。各組は、先頭より一、二、三、四、五、六……の番號をつける。

遊び方 合圖に依り、赤、白の最後の者は、その列の右を通り、向ふの列の左を過ぎ、その後の目標になつてゐる障礙物を廻り、又その列の右側を通り、自分の列の左側より後の障礙物を廻つて走り、最初の位置に戻つて自分の前の者にバトンを渡して、その列の最前に並ぶ。

つまり、味方及、相手の列を一廻りして、元の位置でバトンを渡し、更に進んで、その列の最前に並ぶのである。バトンを受けた者は、同様にして、次の者にバトンを渡し、順に、前の方に並ぶ。

この様にして、早く最初の隊形に戻り得た組が勝となる。